

こんにちは 議会です



No 25



▲今年は台風もなく、豊作となりました（写真：梶山小学校児童による稲刈り）

9
月
定
例
会

町立病院へ1億2千万円を補てん

病院の決算など19議案を可決 2 P

総括質疑

町立病院の経営改善をめぐる、質疑が飛び交う 4 P

9人が一般質問「町政」を問う 6 P

視察研修レポート **先進地に学ぶ** 14P

議会傍聴者に聞く **ひとことインタビュー** 15P

病院の決算など19議案を可決

町立病院へ1億2879万円を補てん

9月定例会は、9月10日から9月20日まで11日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成12年度の町立病院と水道会計の決算や三股中学校施設整備基金条例の制定など19議案と1諮問、1請願について審議しました。

その結果、提案された議案すべてを、全会一致で原案のとおり可決しました。

平成12年度町立病院事業

会計の決算の収益的収

支は、収入額が7億22

59万円、支出額は7億

55万円であり、220

3万円の黒字決算となり

ました。

また、平成12年度水道

事業会計の決算の収益的

収支は、税抜きの場合、

収入額は、3億2717

万円、支出額は、3億1

779万円であり、93

7万円の黒字決算となり

ました。

中学校の施設を

整備するために

資金を積み立てます

三股中学校施設整備基金条例を制定しました。

三股中学校の校舎は、

老朽化が進んでおり、ま

た、環境の変化に対応す

るためにも、全面改築が

必要です。これは、その

ための資金を積み立てる

条例です。

このほか、2件の条例を改正しました。

▼三股町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正しました。

これは、図書館においてコピー機を使用する場合に、1枚につき20円の手数料を徴収することにしました。

▼県営土地改良事業の分担金徴収条例の一部改正と三股町税条例の一部を改正しました。





◀ 耐力度調査をする町体育館

町体育館を

耐力度調査

一般会計補正予算は、1億524万円を増加し、総額を78億6056万円としました。

主な補正内容は、小型動力ポンプ付き積載車の購入費に761万円、三股町体育館の耐力度調査費に263万円、三股中学校施設整備基金積立に3000万円などでした。このほか、4会計の補正予算を可決しました。

▼国民健康保険特別会計の補正予算は、1646万円を増額し、総額を22億3617万円としました。

▼介護保険特別会計は、218万円を増額し、総額を12億5136万円としました。

▼町立病院事業会計の補正は、収益的収支より299万円を減額し、病院経営診断委託料として、450万円を薬品費から組替えることにしました。

▼水道事業会計の補正は、資本的収入で、工事負担金を増額し、資本的支出で、工事請負費を増額しました。

2千7百万円の

消防車を購入

財産の取得は、消防補給車を、2782万5千円で、宮崎ラビットポンプ(有)から購入することにし、文化施設に設置する情報掲示板を、2026万5千円で、九州電



▲ 3千万円近い消防車を配置する消防団機動本部

通建設(株)から購入することになりました。

水土保全森林緊急間伐林道事業高畑線(1工区)の工事請負契約を契約額9397万5千円で、(株)測脇組と結ぶことにしました。

公用車による

事故が2件

損害賠償額の決定及び和解は、公用車による事故が2件ありました。

園事務組合の規約の一部を変更しました。

これは、リサイクルプラザ及び、一般廃棄物最終処分場の設置、運営に関することを追加したものです。

▼教育委員会委員の任命は、福山陽子氏を新規に任命しました。

▼人権擁護委員の推薦は、柿原信知氏を適任としました。

請願を採択

請願は、都城市と隣接しており、児童の数も多い稗田地区に児童館を建設して欲しいということでした。議会は、これを全会一致で採択しました。

継続審査の結果

今年の3月定例会で審議し、継続審査となっていた切寄共有林についての陳情を、さらに継続審査としました。

平成13年7月9日、三股町蓼池で起きた事故は、相手が2人いて、賠償金額3万6640円と40万7千円を支払うことになりました。

その他の議案は、次のとおりです。

▼都城北諸県広域市町村

町立病院の経営改善に質疑集中 人件費が66%を占める



▲町立病院の経営改善が望まれる（写真：町立病院リハビリ室）

9月12日に提案された議案に対して、総括質疑をしましたところ、町立病院の決算や、補正に質疑が集中しました。
また、消防車の購入や公用車の事故に対しても、多くの質疑や厳しい指摘がありました。

人件費が

赤字の原因か

問 委託職員の分を含んだ人件費が、医業収益に対して66%となっている。自治体が経営する病院は、人件費が50%を超えると赤字経営になると言われている。

答 今後の病院の経営改革をどのように進めるのか。

問 経営診断を行い、資料をそろえ、病院経営を検討する組織づくりをする。

問 病院が赤字になる主な原因は、人件費ではないのか。

答 人件費が、赤字の原因の一つだと考えられるが、主たる原因だとは言えない。

患者を増やす

対策は

問 病院の決算で、外来患者が増えているのに、外来の収益が減っているのはどういふことか。

答 患者の数に収益は、必ずしも比例しない。病気が、けがの内容によって収益も違う。

問 患者数を増やして、収益を上げる対策をとっているのか。

答 今回の経営診断の結果などを参考にし、検討したい。

薬品費を減にする理由は

問 町立病院の補正予算に病院経営診断委託料として450万円が入って

いるが、この財源を補うために薬品費が450万円の減になっている。

問 この補正により、薬品費に不足が生じ、結局、薬品費を増額補正することになるのではないか。

答 薬品費を削るより、一般会計から補助してはどうか。

問 薬品費は、ここ数年の実績にもとづいて予算を組んでいるが、薬価基準の引き下げにより、薬品の仕入値に対しても、値下げの交渉をしている。よって、今回の薬品費の減は、決算見込みによるものである。

答 また、12年度の決算で剰余金がでていることから、一般会計からの補助は、受けにくいことになった。

高価な消防車が 本当に必要か

問 消防車の購入は、3か年実施計画では1千7百万円とし、実際の購入金額が2千8百万円となっているのはなぜか。

また、このような高価な消防車が必要なのか。

答 平成6年度の実施計画で、消防車購入の1千7百万円を計上したが、実施のめどがたたず、そ

のままの金額をスライドさせてきた。実際、予算化する際に見積りを取ると、2千8百万円になっていることが分かった。

現在の補給車は、昭和51年式であり、老朽化が進み、故障が多く、消火活動に支障をきたすようになった。よって、消防団の安全で迅速な消火活動を支援するためにも、買い替えは必要である。



▲公用車での事故が相次いだ

公用車事故の 詳細は

問 公用車による事故の状況を詳細に述べよ。また、事故の過失割合はどのようになっているか。

答 3月に起きた事故は、都城市役所近くの交差点の事故であるが、町の職員は、黄色点滅の信号側から、相手は、赤点滅の信号側から交差点に進入し、事故になった。

そこで、町の職員には徐行義務違反、相手には一時停止無視違反が発生した。

通常、交差点での事故では、過失割合が3対7となるのだが、この件の場合は、1対9となった。7月に起きた事故は、下新から勝岡に向かう途中の岩下橋を渡りきったところで起きた事故である。

町の職員が、前方の自転車を避けようとして、反対車線にはみ出し、対



▲雨の日は、特に身障者の方は車の乗り降りが大変だ

向車2台と衝突した。過失割合は、10対0と、町側の100%過失となった。

町体育館を 耐力度調査する 理由は何か

問 町体育館の耐力度調査は、意味があるのか。

この体育館は、建設して36年経っており、老朽化が進んでいるため、誰が見ても建て直す必要があると分かる。耐力度調査をする理由を述べよ。

答 確かに、町体育館は、傷みが激しいが、現在のところ建て替えの計画はない。今後、この体育館

役場玄関横に 身障者用駐車場の

問 役場駐車場の区画線設置委託料70万円の補正の詳細を述べよ。

答 役場駐車場の区画線が薄くなっているため、引き直すものである。

問 身障者専用の駐車場を玄関横に設置する考えはないか。

答 身障者専用の駐車場が、現在、設置してあるが、玄関から離れている。今後、検討していきたい。

9月議会の一般質問は9月18日と19日の2日間に行われ、9議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。



永山龍郎議員



▲乾燥材の安定供給を

乾燥材の安定供給への 取り組みはどうか

町長 助成などを、今後、検討する

町長 外材との激しい競争で供給が伸び悩み、品確法に伴い、乾燥材の安定供給が緊急話題となっている。三股町の場合はどうにしているのか伺いたい。

町長 人工乾燥材生産効率化整備事業で林業構造改善事業計画書に登載された施設が対象となる。県の承認を得た施設借受者が町内の業者であった場合、助成等について今後検討する。

町長 スポーツ少年団の育成拡充にどう取り組む
町長 青少年のスポーツ振興、スポーツ少年団の育

成拡充のため、三股町としてどのような方針で対処されるのか伺う。

町長 本町のスポーツ少年団の活動・活躍については、大変頼もしく嬉しく思う。又指導者・母集団保護者の方々のご苦労・ご努力に敬意を表し、スポーツ少年団活動を通じて心も体も大きく成長することを期待します。

町長 スポーツ少年団への補助金を増額できないか
町長 スポーツ少年団は登録料・補助金・物品販売売上げ収入で運営している。補助金の増額はできないか。

教育長 スポーツ少年団の予算書を見る限り厳しい面がある。町体育協会の助成金、273千円である少年団本部役員、三

役を中心自己負担の増額を含め助成のあり方について検討されつつあるので、その結論を待って検討したい。

町長 遠征のとき町のバスを使用できないか
町長 九州大会・全国大会に参加する時、バスの運行はできないか。
財政課長 基本的には町主催の行事が原則。何故なら事故の場合は保険の適用がうけられない。

財政課でどうこうするわけにもいかないので、教育委員会とも協議して検討させていただく。

生涯学習課長 スポーツ少年団、本部役員会で検討している。一市五町の各町のとりきめも参考にしながら対応していきたい。

バスの件も財政課・教育委員会でも検討して、とりきめをさせていただきたいと思います。

住民に親しまれるよう 町立病院を改善せよ

町長 質の向上を図りたい



▲町立病院待ち合い所



原田重治議員

町長 町立病院の経営は、毎年一億以上の赤字を出している。これからのような経営改善を行って行こうと考えているのか。

町長 どの公立病院も経営は厳しい状況にあるので、民間人を入れた町立病院経営検討委員会を作って検討してもらおう。

病院事務長 毎年一億以上の予算を一般会計から繰り入れているが、国から病院のための交付金をもらっている。しかし、病院の収入より支出の方が多く、交付金がなければ赤字である。この点について内部検討改善の力を入れている。

職員の応対に 問題はないか

町長 ある病院では、外来者に対しては親切であるが、入院患者に対しては不親切である。町立病院も同じことであると、ある町民の方から聞いたが、町立病院は完全看護なのか。

病院事務長 町立病院は完全看護であるから、患者に対する応対等については、朝礼等機会を見て話し合い、注意している。

町長 入院患者・家族は、病気を何とか治してもらいたい一心である。看護婦の親切は身にしみて嬉しいものである。又その反面、不親切・言葉については敏感である。収支の検討だけでは表に出さない問題であり、人のやる気があるか、ないかだと思う。公務員は自分の身をわきまえて頑張ってもらいたい。町立病院が町民の皆さんから、町

立病院に入院したら親切で安心して治療出来る等の声が聞こえるように頑張ってもらいたい。

町長 指摘のように、人の質の向上が最も大事な事であり、今迄もそこで働く看護婦、その他、職員の教育に力を入れているが、これからも一層患者にやさしく接するよう、質の向上をはかって行きたい。又、町立病院を中心にした医療、予防に努めていきたい。





大久保 義直 議員

生ゴミ処理機の

購入に対して補助金を

町長 今後、検討したい

問 現在、ゴミの問題が深刻化している。中でも生ゴミは水分を多く含む

であり、焼却するにしても大量の燃料が必要である。

そこで、ゴミの減量化対策として、町民が電動生ゴミ処理機を購入した場合に補助金を出してはどうか。

近隣の市や町でもこの

制度を導入している。

町長 環境汚染が地球規模で進んでいて、中でもゴミ問題は私たちの最も身近な問題である。

本町ではゴミの減量化を促進するために循環型ゴミ行政を導入して、ゴミのリサイクル、再資源化を進めている。生ゴミの堆肥化にも平成3年度から取り組んで

おり、家庭用のコンポストを販売している。しかし、アパートなどではこのコンポストは使用できないため、今後、電動生

ゴミ処理機の購入に対しての補助金を検討したい。

問 電動生ゴミ処理機で処理された生ゴミは、臭いもせず、肥料としても優れている。どうか、前向きに検討してもらいたい。

町長 今後、検討する。



▲優れた肥料を作りだす電動生ゴミ処理機



黒木 孝光 議員

貴重な史跡

梶山城の保存計画は

町長 段階的に取りかかる



▲全国的にも珍しい山城の全体像を残す梶山城跡

町長 貴重な史跡、勝岡城・梶山城跡地の保存整備が、文化財を保護する事業として予定されている。

今後の経緯と今後の具
体策を伺う。勝岡城跡は
過去保存整備が進められ
た、経緯と今後の取り組
みを伺う。

平成5年度以降年

次に進められ、全体面
積の約50%買収、地籍測
量図等の作成が終わり、
今後の課題は案内掲示板
の設置と、残りの土地買
収です。

町長 梶山城は14世紀中期
に築城。専門家の調査で
山城の全体像が残されて
いるのは全国的に珍しく、

極めて貴重な史跡。今後
の具体策を伺う。

教育長 都城北諸12外城
の中で保存状態が一番良
い。今後、地籍図の作成、
地権者の把握、地籍測量
図の作成と急を用する作
業より、段階的に取りか
かる。

梶山・長田・宮村 地区に

ケーブルテレビを

町長 梶山・長田・宮村地
区のカールテレビ整備
について伺う。

町長 未整備地区の13自
治公民館で実施したアン
ケートの結果、情報メ
ディアに対する関心の高
さがうかがわれた。結果
を都城ケーブルテレビ会
社に報告。地域住民の情
報基盤の確立と難視聴地
域の解消など、早期に電
送の工事を実施する様要
望書を提出した。早速会
社の説明会が開催された。

農家の 高齢化対策は

こだわりと信頼で、自然
の恵みを含む地域ブラン
ドを育てる事です。町長
の公約でもある特産品作
りはどうなのか伺う。

町長 平成11年度関係者
で特産品づくり推進協議
会を設置検討して「アス
パラガス」と「完熟きん
かん」、12年度は「ギン
ナン」と「タラの芽」を
検討している。13年度は、
定植支援を行う方向で検
討を重ねる。

企画調整課長 今後各地
区毎に説明会が開催され
る。又、工事整備につい
て積極的にお願ひする。

農作物の ブランド化を

推進するべき

町長 農業は作り手と買い
手が共感を作り出すブラン
ド化を求める商品への

町長 農家の高齢化が進む
中、集落単位で、農地及
び農作業を受託する小グ
ループ育成が必要だと思
うが伺う。

町長 高齢化の進行、担
い手不足から農地の遊
休・放棄が進行すると思
う。防止するため、受委
託方式と、小グループ育
成を視野に入れ検討する。

水源かん養林と 農業用水対策は

町長 整備及び保全に努める



中石高男議員



◀水資源確保に努めよ(写真:細目池)

問 今後、水源かん養林と農業用水対策をどう考えているか。

また、最近では、排気ガスによる大気汚染や森林の乱伐など世界的規模で自然破壊が進んでいる。

それにより、海水の温度が急上昇し、平均気温が高くなり、森林が減少し、異常気象がもたらされている。

70%以上の山林を持つ本町では、今後、水資源確保をどう考えているか、なお、細目えん堤の水漏れと埋まっている土砂対策は、どう考えているか。

町長 本町の場合、森林は、町の財産であり、地域社会に水源かん養林として恩恵をうけており、今後も作業

路などの整備及び保全に努めていきたい。

細目のえん堤は、一級河川でもあるので、県や国との協議を重ね、検討していきたい。

清流園の改修は

問 清流園は、老朽化しており、建て替えをするか、もしくは、段差をなくすなどのバリアフリー化が、必要だと思われる。町長の考えを聞きたい。

町長 清流園は、昭和54年に建設され、築22年経過している。しかし、まだ耐用年数を超えていないので改修を考えている。14年度に国庫補助事業として取り組む。

問 町営住宅で古くなっているものは、景観上からも建て替えや整備が必要だと思うが町長の考えを聞きたい。

町長 町営住宅は、昭和27年度より建設がはじまり、かなり老朽化が進んでいる。現在では、14

1戸が空家になっており、111戸が入居不能で30戸が空室になっている。

しかし、間取りや駐車場スペースなど入居者のニーズに合わない面もある。再生基本計画を策定して、改善と充実を図っていきたい。

問 1市5町の合併問題の、現在までの、動き、経過及び現状を伺う。

町長 郡内で合併問題研究会を発足させ、各町の助役で合併の研究を重ねている。

来年の町長選には 出馬するの否か

問 町長は、来年9月に執行される町長選挙に出馬する意思があるかを伺う。

町長 町民の信託を受け、皆さんの支えによって、3年経過し、町政も順調で、感謝の念でいっぱいである。町民の幸せと町政の進展に意を傾けたい。



▲空家が目立つ町営住宅、手前の空地は解体された跡



町長 議員 茂

早急に取り掛かれ 町営住宅の対策に

町長 住宅の環境充実を図る

問 町営住宅の現状を伺う。

町長 町営住宅の現状は、つぎのとおりである。

▼入居状況	▼申込み状況
管理戸数 864戸	中耐住宅 18件
入居戸数 723戸	簡平・木造 10件
入居率 83%	▼家賃滞納状況
	2月以内滞納 38世帯
	3月以上滞納 81世帯
	滞納合計119世帯

問 このとおり多くの問

題を抱えているのに、これまで先送りにしてきている。住宅対策は、検討すべき時期にきていると思うが、町長の考えはどうか。

町長 耐用年限を経過している住宅が、17団地、468戸ある。現在、入居している分の管理運営に努めるとともに、建て替えについても検討していく。

高齢化社会に対応し、住宅の統廃合など用途廃止を含めた再生の基本計画をたてる時期になっている。更なる住宅の環境充実を図っていく。

問 公共施設の管理及び整備状況は。

町長 草刈やトイレの掃

除をシルバー人材センターに委託し、施設の修理は業者へ委託している。都市・一般公園は都市計画課で管理し、公園のトイレ清掃はボランティアですらっている。また、老朽化が進んでいる町体育館を耐力度調査し、今後の運営を検討する。

運動公園野球場の観客席に屋根を

問 野球場本部席の上部にある観客席に日よけの屋根を設置してどうか。

町長 両サイドには、樹木の日陰もあるため、設置は考えていない。



山中 則夫 議員



▲今後、どうなる市町村合併 (写真：三股町市街地)

三股町を市にする 考えは無いか

町長 行政が中心に動くべきでない

行政機構改革の 時期では

町長 行政機構の再編成、
統廃合に抜本的に取り組
む時期ではないか。

町長 最小の経費で、最
大の効果をあげるために
も、組織機構、事務改善
に積極的に取り組んでい
きたい。

町長 機構改革改善検討委
員会を設置して取り組ん
ではどうか。

町長 国の財政面の締め
付けも厳しくなってくる
ので、財政、事務改善を
含めた小委員会を設置し
て取り組みたい。

町長 国・県としては、
合併のシンポジウムなど
を開催して積極的に推進
している。

町長 都城市中心の考え方
ではなく、三股町を中心
にした考え方で北諸5町
の主導的立場に立つて三
股町を作るくらいの指導
力を発揮してはどうか。

町長 三股町が中心に
なって動く時期ではない
ので、今のところ、考え
ていない。

町長 北諸合併問題研究会
が設置されていると聞く
が。

町長 5町の助役が、メ
ンバーになっている。今
年度いっぱい協議し、そ
の都度報告したい。

町長 町長は、市町村合併
問題をどう考えているか。

町長 行政主導の考え方、
判断はしない。

町長 現時点で、三股町長
としては、合併するの
か、しないのかを言明して
いいのではないか。

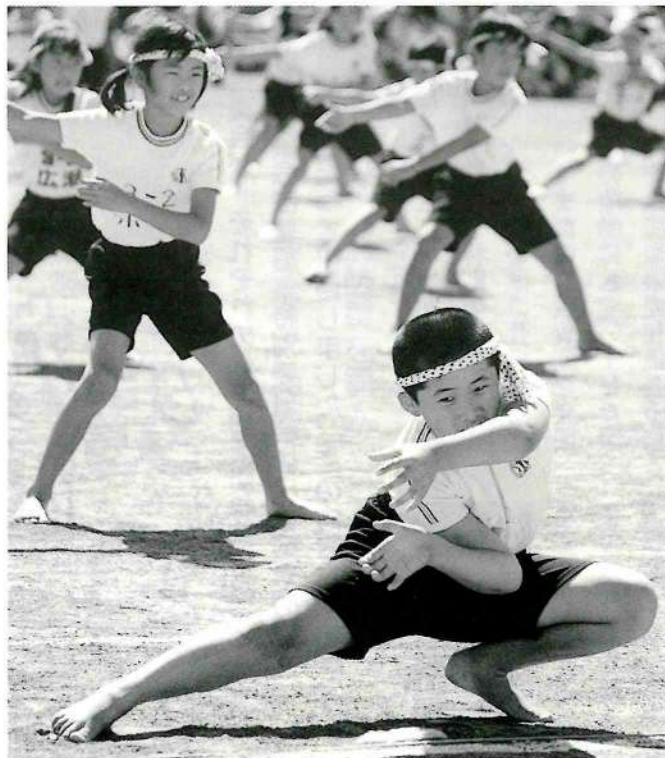
町長 昭和40年代に、都
城市との合併問題があっ
たが、町民の反対により
実現しなかった。行政の
担当者として、合併をす
るとか、しないとかが言
うことは差し控えたい。
北諸5町で民意主導で
足並みをそろえたい。

町長 国・県の取り組みは

町長 国・県の取り組みは
どうか。

学校週5日制に 対応した子育て支援は

町長 現在、検討中である



▲週5日制に対応した子育て支援を（写真：三股西小）

池田克子議員



問 来年度実施の完全学校週5日制の休日を充実させるために、推進委員会は発足されるのか。

町長 関係課の対策会議を現在、2回実施し、対応を考えている。

問 他町では、育成会を通して活動計画を立てている。必要ではないか。

か。
生涯学習課長 青少年、親子会との連携をとり、ウィークエンド事業として、元氣塾を実施している。

問 各児童館の受け入れ態勢を万全に計画しているか。

町長 現在、放課後、休日の実態調査を実施し、集計中である。現況や課題の分析を行い、対応を考える。

問 児童館がない地域での対応は。

町長 児童館の統廃合や他の公共施設での活用を考えている。

問 稗田の児童は、植木の児童館を利用している。請願書も出ているし、考慮すべきではないか。もし、無理なら保育園へ委託してはどうか。

町長 対策会議の中で検討する。

病後児保育事業の実施を早急に

問 子育てと仕事の両立を支援して、少子化を防止する病後児保育事業を早期に実施できないか。

町長 健康管理センターの子育て支援相談事業の状況をみて、要望があれば実施の検討をする。

問 特に保護者が1人家庭での病後児保育は、仕事への不安定にもつなが

り、経済的に大変になる場合もある。病後児保育事業を引き受けたいと言う保育園もあるので、そこに委託できないか。

福祉保健課長 都城市が北諸5町にも広げたいと言っているので、調査して検討する。

総合福祉センターに福祉作業所を設置しないのか

問 平成13年3月定例会で、「福祉作業所を総合福祉センター内に設置する」という町長の答弁があったが、その後の経過はどうなっているか。

町長 総合的な考えの中で、変更が生じた。各種団体が利用する場であり、福祉作業所が常時入ることとは、環境の面からも無理がある。

問 人数が多くなり、作業場所が狭い。他の方法はどう検討しているのか。

町長 逐次、施設整備を考えていく。

どろろすべきが町づくり 先進地に学ぶ

議会運営委員会と議会広報編集特別委員会が、それぞれの先進地を訪ねました。
議会運営委員会は、佐賀県の川副町へ、議会広報編集特別委員会は、福岡県の吉井町と山口県の田布施町をたずね、各分野にわたって研修しました。この内容を「視察研修レポート」として、各委員会が報告します。

よりスムーズな議会進行を

議会運営委員 黒木 孝光 議員

7月6日に佐賀県の川副町に行き、議会運営について研修しました。川副町は基本的に本会

員会に、当初予算及び決算は、特別委員会に付託するということでした。



また、一般質問を会期の前半にしていました。それについて、議会の全体の流れを考えると、会期前半にする方が好ましいという意見が出ました。議員定数は、川副町が、20人、(本町は18人)で、議会運営委員会の開催は、定例会の概ね5日前(本町は、3日前)でした。そして、議会の進行をよりスムーズにするために、一般質問の内容を具体的に簡単明瞭に通告書に書き、事務局に提出することを徹底しているようでした。

レベルの高い議会広報づくりに努めます

議会広報編集委員 池田 克子 議員

7月30日から8月1日までの日程で研修に行きました。

所として利用されてきました。自分たちのアイデアで住民に元気になってもらおうとする職員の方々の熱意を強く感じました。

1日目は、福岡県、吉井町の総合福祉センターの運営状況を研修させていただきました。

2日目は、平成12年度全国町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞した山口県の田布施町をたずねました。



本町の議会広報も、それなりの改善をしてきたつもりでしたが、基本的な記載が抜けていたり、色の使い方が悪かったりと数多くの改善すべき点を指摘されました。今後、この研修を最大限に生かしていきたいと思えます。

ひとことインタビュー



福田 千里子さん (山王原)

私たちに、もっと多くの
情報をください

きれいな町づくり
を目指してほしい

9月議会を傍聴された方の中から、お二人の方に傍聴しての感想などについてインタビューしました。
今回のインタビューに快く応じていただいたのは、福田千里子さんと月野一美さんでした。ご協力ありがとうございました。

— これまでに何度、議会を傍聴されましたか。

— 今回の9月定例会で3度になります。

— 傍聴のきっかけを、お聞かせください。

「いきいき銀杏」という女性だけの会に入っていて、その行事に参加する形で傍聴しました。

— 傍聴しての感想は。

— 長年、三股町に住んでいて、議会を誰でも傍聴できることを初めて知りました。

— 三股のようすをこれまで以上に身近に感じることができ、自分たちの選んだ議員さんたちが、

— 傍聴は初めてということですが、きっかけは。

— 私は、ずっと三股に住んでいるのですが、町のことを全くといっていいほど知らなかったの、これではいけないと思い傍聴をしました。

— 傍聴しての感想を、お聞かせください。

— 行政が税金を使って、

— どのようなことをやっているのかを、知ることができました。また、議員さんたちが、元気いっばいに発言している姿を見ることができて、良かったと思います。

— 町政や議会に対して、要望などがありますか。

— すでに決まったことなどは、回覧板などで知る

— ことができるのですが、温泉開発や勝岡城、梶山城の保存など進行中のことについては、情報が全く町民に届いてこない気がします。

— 細かいことなども含めて、沢山の情報が、町民全体に行き渡るような工夫をしてほしいです。

— 夫をしてほしいです。

議会を傍聴してみませんか

次の本会議は、12月上旬の予定です。くわしくは、議会事務局まで 52-1111



月野 一美さん (植木)

— 町政や議会に対して要望などありませんか。

— すてきな文化ホールが、もうじき開館しますので、それをスタートとして、すてきできれいな町づくりを目指してほしいです。

上米 棒踊り 保存会

先輩たちが残してくれた
ものを大切に

会長 原田 好弘さん



踊りの由来を

教えて下さい

棒踊りは、今から4百年前の朝鮮出兵のおり、島津義弘が、泗川の戦いで勝利を祝して踊ったのが始まりだと言われています。

上米棒踊りは、他藩の兵を迎え撃つため、武士が、農民にひそかに棒術を教えたのが始まりだと伝えられています。

踊りの特徴などを

教えて下さい

衣装は、白かすりに五色のタスキ、鉢巻き(角結び)、白足袋、黒脚半を身につけ、草履を履き、日の丸の扇子と6尺の棒を持ち、12人(1組6人の2組)で踊ります。

ヤマは、太鼓、三味線、拍子木、唄い手で構成します。

棒踊りから始まり、奴踊りへと移る動きの激しい踊りです。

どんな時に

踊られるのですか

4月の上米集落の祈念や早馬神社まつり、第2地区敬老運動会、そして、11月の三股町ふるさとまつりなどで踊ります。

編集後記

菊薫る好季節となりました。本年は、台風も無く、黄金色に実った稲穂が秋風にゆれ、豊作の収穫期となりました。

いよいよ、文化ホールと図書館の開館を迎え、三股町ふるさとまつり、三股町文化協会芸能発表会、三股町剣道錬成大会と、「文教のまち三股町」にふさわしい行事が続きます。ゆたかなまちづくり、魅力あるまちづくりを掲げたこれらの行事は、町外の人々が本町を訪れるよい機会となるでしょう。

9月議会で、県内一の大規模校にふさわしい施設ができることを願い、三股中学校全面改築のための基金を積み立てることにしました。

昭和23年に町政が施行され、「三股町立三股中学校」と改称されてから、50年の歳月が流れましたが、私にとつては、思い出深い母校です。

最後に、よりよい議会広報づくりのために、「こんにちは議会です」に対してのご意見や感想を、皆様よりお聞かせくださいますようお願いいたします。

(編集委員・永山龍郎)

(取材・黒木孝光)



困っていることや

よくありませんか

勤め人が多くなっているなかで、踊り手の確保が困難です。

また、三味線、拍子木、唄い手は、高度な技術を要するために、後継者を育成するのに苦労しています。

踊りの継承について教えて

下さい

今後の継承は、大変だと思えます。しかし、先輩たちが、残してくれた伝統芸能ですから、地域が一体となって若い人への加入促進に努力しています。そして、次の世代へ引き継いでいきたいと思っています。